

# 中井だより

中井やまゆり園

## 感染症の季節を前にして！

医務課 看護係長 川口 佳穂里

12月師走となり、朝晩の冷え込みはあるものの、日中は暖かい日が続いています。今年は季節がゆっくりと流れているせいか、医務課から見える女子寮前の中庭には、鮮やかな紅色のドウダンツツジが色づき、長い間楽しませてくれています。冬になると気温の低下と空気の乾燥から、風邪の季節とも言われ、感染症発症のリスクが高まります。11月はインフルエンザの感染が、小中学校の間で聞かれました。コロナウイルスの感染においても、5月から5類移行となり、以前のような感染人数の報道発表は無いものの、感染者数においては続いている状態です。

そして今年においては、咽頭結膜熱の流行も言われています。利用者様は、園外での活動が増えてきた中で、園外の人との関わりも増えました。感染リスクとしては増えた状態ではありますが、以前に比べて全体的にマスクの着用が長い時間できるようになってきました。まだまだ全員というわけにはいきませんが、こんなところでも園外活動の効果が見られています。マスクの着用・手洗いや消毒の実施が少しずつですが、定着してきています。予防注射は、11月にインフルエンザを済ませました。12月19・21日には、コロナワクチン接種を予定しています。

昨年度はコロナウイルス感染・クラスター発生が夏・冬と2回あり、ご家族・後見人の皆様には大変心配をおかけしたことと思います。今年度、今現在までの感染症発症におきましては、コロナウイルス感染3名・インフルエンザ感染1名となっております。まだまだこれからが感染症の季節となり、油断はできませんが、まずは外からウイルスを持ち込まない為に、利用者さんと関わる私たち職員が体調を整えて行くことが大切です。そしてマスクの着用は引き続きお願いします。

年末年始、ご家族様におかれましては、利用者様との外出・外泊を予定している方もいらっしゃると思いますが、できる限りの感染対策をお願いします。

